



**メインカラーの白×茶で
レトロ空間あふれる趣き空間に**

お子様の小学校入学にあわせて、古い町並みの一画にある実家に戻れることに決めたYさん。町並み景観保護区に位置するため、外観には茶色の出格子を付け、また外壁も白い塗り壁に変更。リフォームしたてとは思えないほど町並みに溶け込み、懐かしささえ感じられる落ち着いた

佇まいとなりました。
今回リフォームをしたのは1階のキッチン、浴室、トイレなどの水廻りと2階全面です。インテリアに興味のある奥様は、リフォームをするにあたり、「白・茶」というテーマカラーを決めておられました。そこで、キッチンは白を基調としたシックな空間に。キッチンフロアは無垢のナラフローリングに茶色の塗装を施しています。

2階はYさん世帯のリビングと寝室、そして子ども部屋とするため全面改装することに。そこで、天井を解体していると大きな梁が現れました。もともと、「白と茶をメインとしたレトロ空間のある空間」を希望していたご夫妻のために、2階リビングには梁を新たに設ける予定でしたが、解体で立派な梁を発見したことで計画を変更することに。この梁を活用し、天

井勾配を生かした部屋へと導きました。テーマカラーにあわせ、大きな梁や柱を茶色に塗装して当初の姿よみがえらせ、また新調した建具は壁との一体感を出すために、全てオーダーで白色に統一しました。昔からの造りを随所に残し、ご両親の思い出を受け継ぎつつ、自身の趣味を反映させた我が家づくり。まさに、リフォームの理想の形です。



1.キッチンの床にはナラの無垢材を使用し、濃い茶の自然塗料で仕上げ 2.階段は既存のものをそのまま利用。廊下の奥にはトイレなどを新たに設置。塗り壁の感触や階段手摺、格子の欄間など細かな部分で古民家風を演出 3.白と茶で合わせた子ども部屋。将来二部屋に分けることを想定 4.「町並みや自然に調和している」とその優れたデザインが評価され、町の平成19年度「景観デザイン賞」に選ばれた

DATA

- 種別/戸建て ■築年数/40年
- 家族構成/両親+夫婦+子ども2人
- 工期/4カ月
- 延床面積/000㎡(00坪)
- リフォーム面積/000㎡(00坪)
- リフォーム箇所/1階水廻り・2階全面・増築
- 施工/株Robin

大きくどっしりとした梁が交差する2階のリビング。天井勾配を生かしているため空間に広がりを感じる。壁材にはフラを練りこんだ珪藻土を使用し、白い壁に合わせて建具も白く塗装



Case study 03: 古民家再生リフォーム [高山市]

モダンデザインで見せる町屋のリフォーム
ポイントは白い建具、
そして古い梁が交差するリビング

(株)Robin 本誌P00 取材・文=倉畑美奈子(Robin) 写真=新山寿弘